

物価高の影響が再び強まり 県内景気は横ばい圏内の動き



神奈川県内景気

- 輸出については、財輸出が弱い動きになっている。インバウンド消費も、増勢は鈍化傾向。
- 11月の県内製造業の生産活動は上昇した。ただ、基調としては横ばい圏内と判断する。
- 11月の雇用情勢は横ばい圏内で推移。一方、物価高の長期化で実質賃金（家計の購買力）は前年割れが続いた。
- 12月の個人消費については、物価高の影響が再び強まる中、単月では百貨店・スーパーの販売額が減少した。他方、サービス消費は宴会需要の増加といった季節性の消費が下支えした模様。

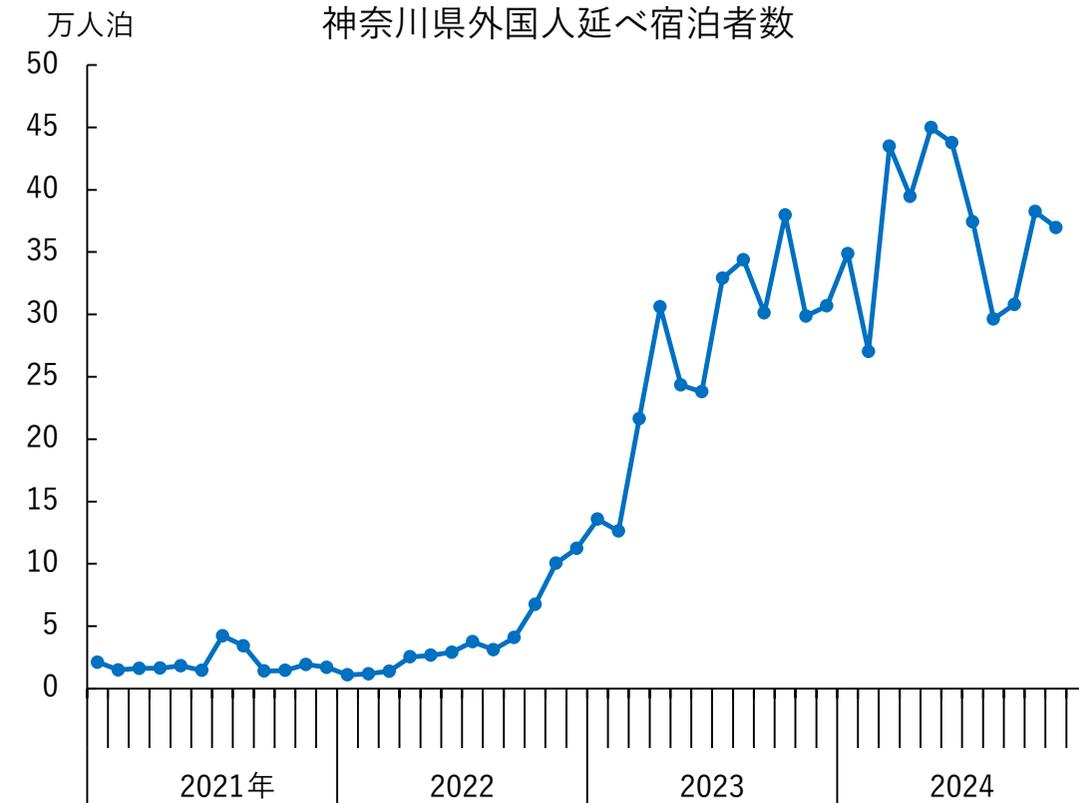
本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。





- 財の輸出は弱い動きになっている。神奈川3港（横浜港、川崎港、横須賀港）の12月の実質（≒数量ベース）輸出は3か月連続で減少した。地域別（3か月移動平均）では、中国向けが減少傾向にある。
- インバウンド消費は増勢が鈍化傾向にある。もっとも、11月の外国人延べ宿泊者数はコロナ禍前の2019年同月比+28.9%（※）で、インバウンド消費が高水準で推移していることに変わりはない。

※2024年11月の値は推計誤差が大きいことに注意が必要。



注：季節調整は当社で施した。

出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より浜銀総研作成

注：2024年1、2、5、7、8、9、10、11月の値は誤差が大きいことに注意が必要。

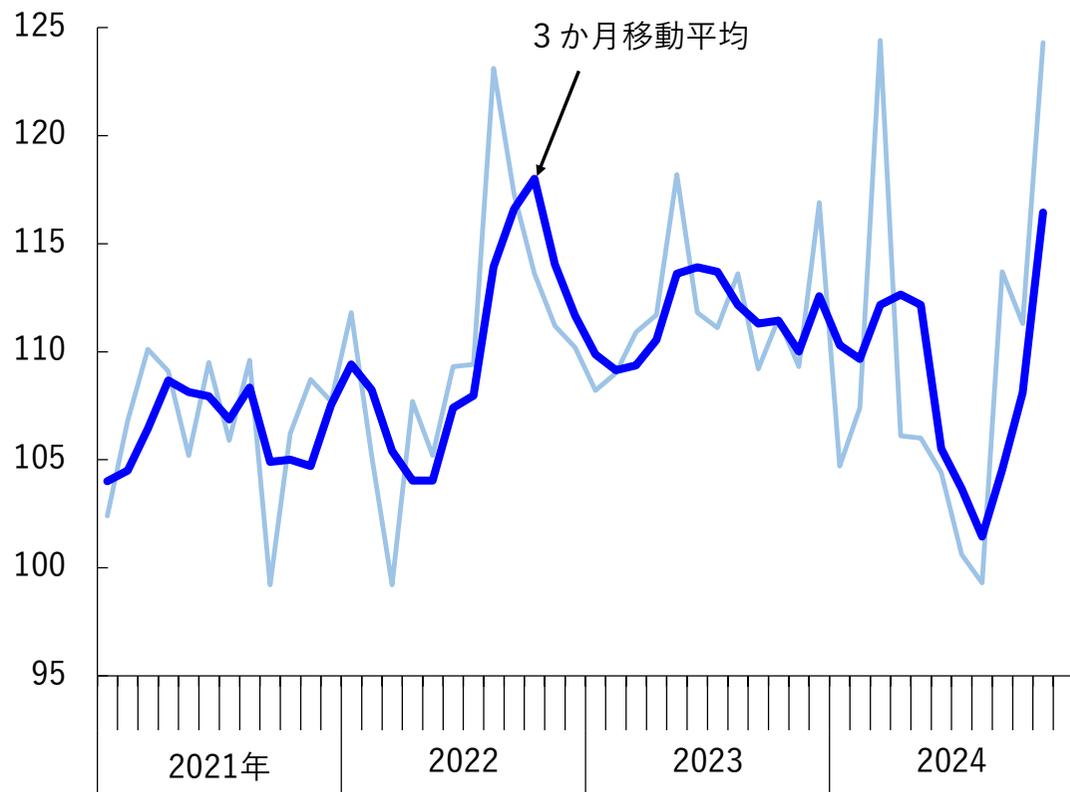
出所：観光庁「宿泊旅行統計」



- 11月の工業生産指数は前月比+11.7%と、2か月ぶりに大きく上昇した。
- 業種別にみると、生産用機械（前月比+133.4%）が大幅に上昇した。同業種の前月比寄与度は+15.82%ポイントとなり、指数全体を押し上げた。同業種は単月の振れが大きいいため、生産指数全体の基調は横ばい圏内と判断する。
- 他の主要業種では、食料品・飲料（前月比+0.5%）が小幅に上昇した。一方、輸送機械（同-2.2%）と化学（同-11.3%）は低下した。

製造工業生産指数（神奈川県）

2020年=100、季調済

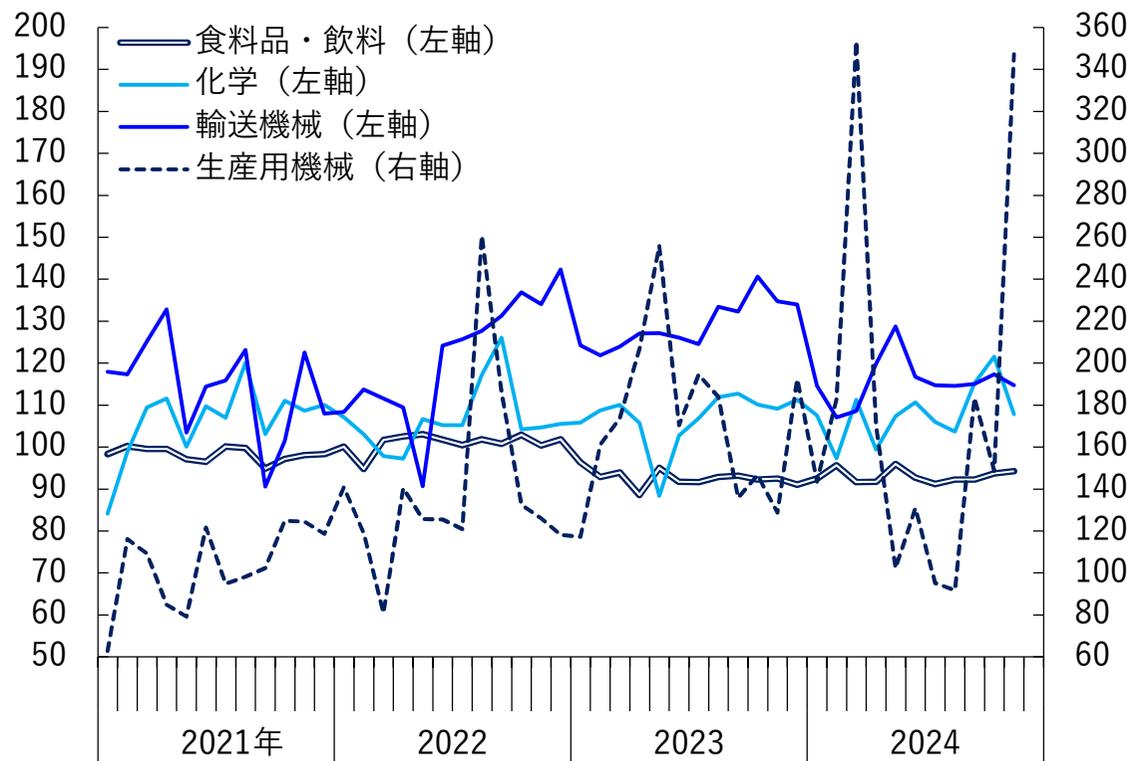


出所：神奈川県「工業生産指数」より浜銀総研作成

主要4業種の生産指数（神奈川県）

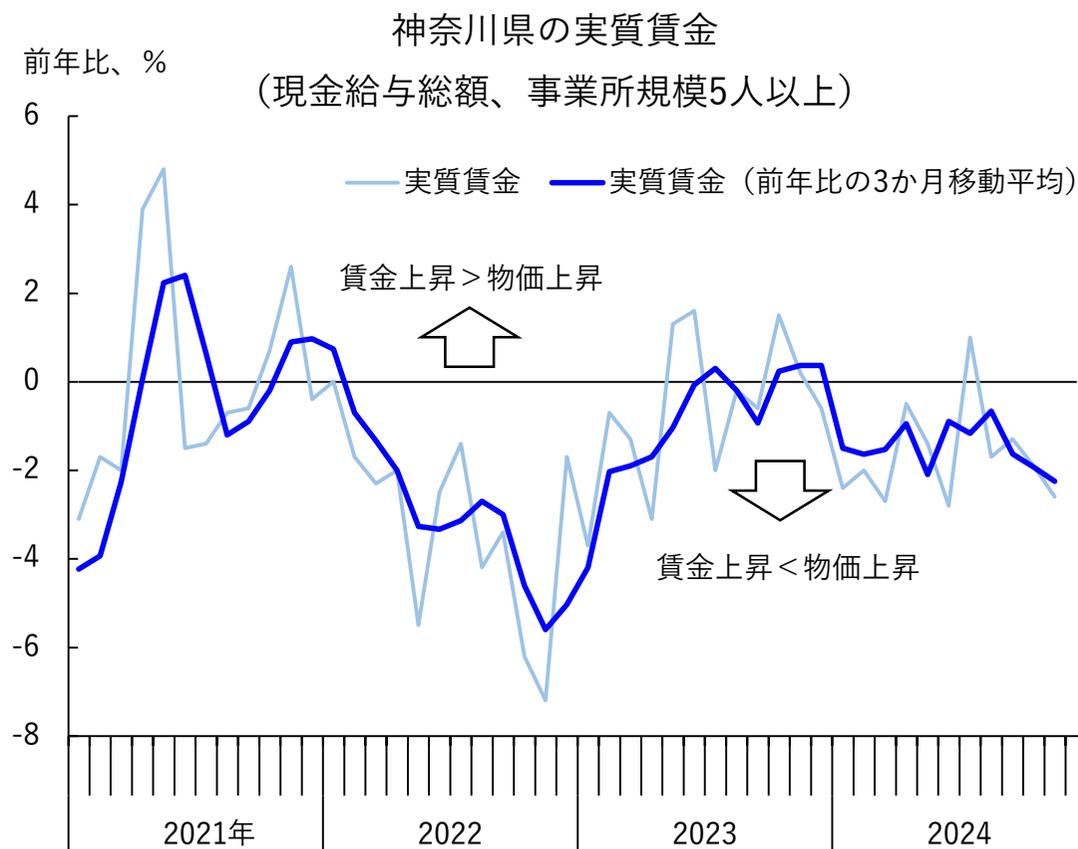
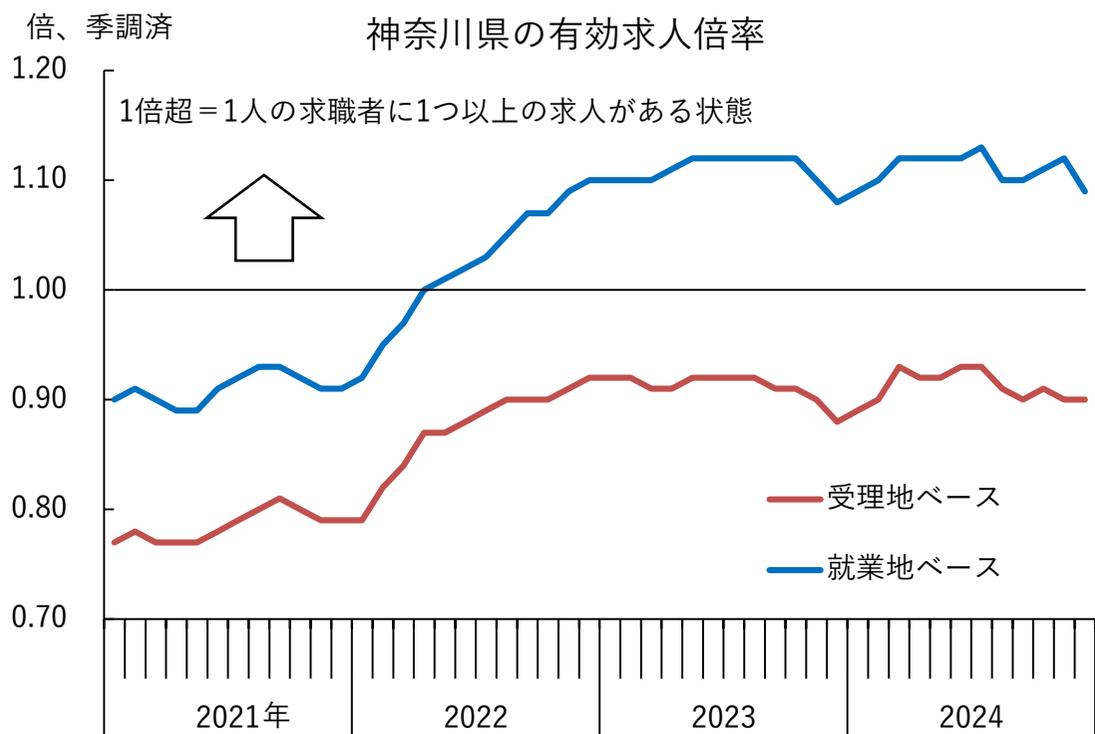
2020年=100、季調済

2020年=100、季調済



出所：神奈川県「工業生産指数」

- 県内雇用情勢は12月も横ばい圏内の動き。12月の神奈川県の有効求人倍率は、受理地ベースで0.90倍となり、前月比横ばいだった。県内雇用情勢の実態をより反映していると考えられる就業地ベースの有効求人倍率は1.09倍と、前月比0.03ポイント低下した。
- 家計の購買力を示す実質賃金（事業所規模5人以上）は11月に前年比-2.6%と、4か月連続の前年割れとなった。ただ、名目所定内給与（給与明細上の基本給に相当）をみると、事業所規模5人以上で同+1.9%、事業所規模30人以上では同+5.2%の上昇となった。名目賃金は上昇しているものの、それ以上に物価の上昇ペースが速い状況が続いている。



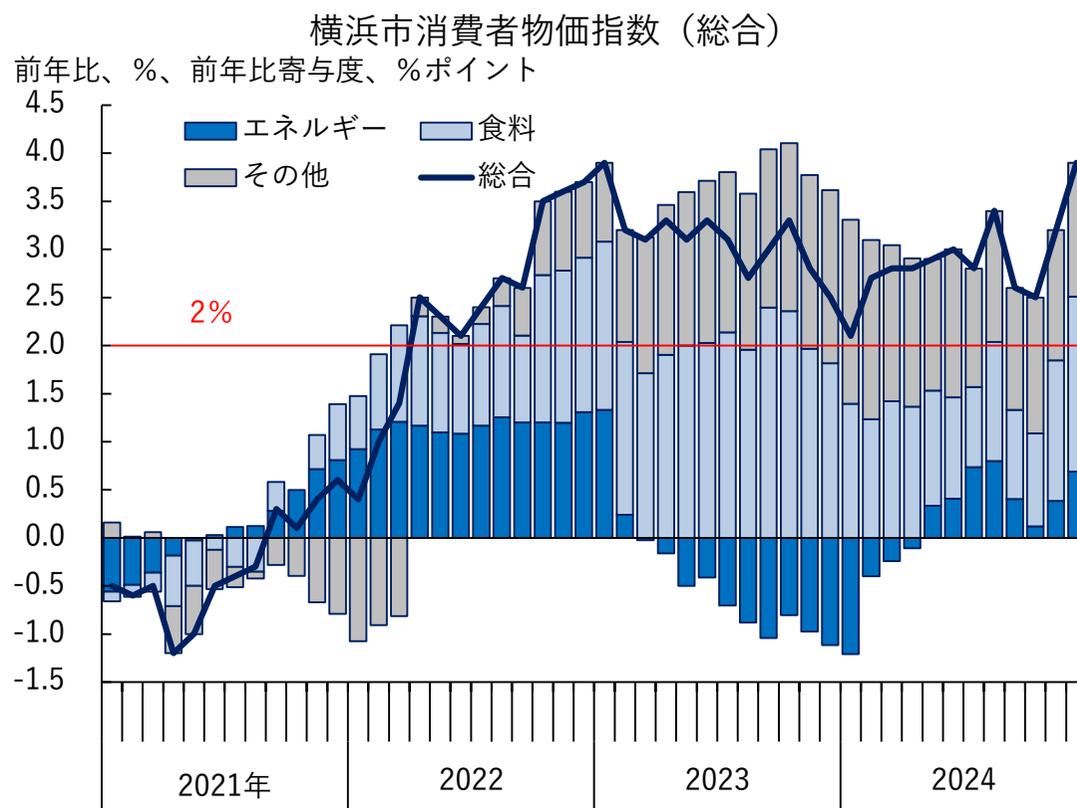
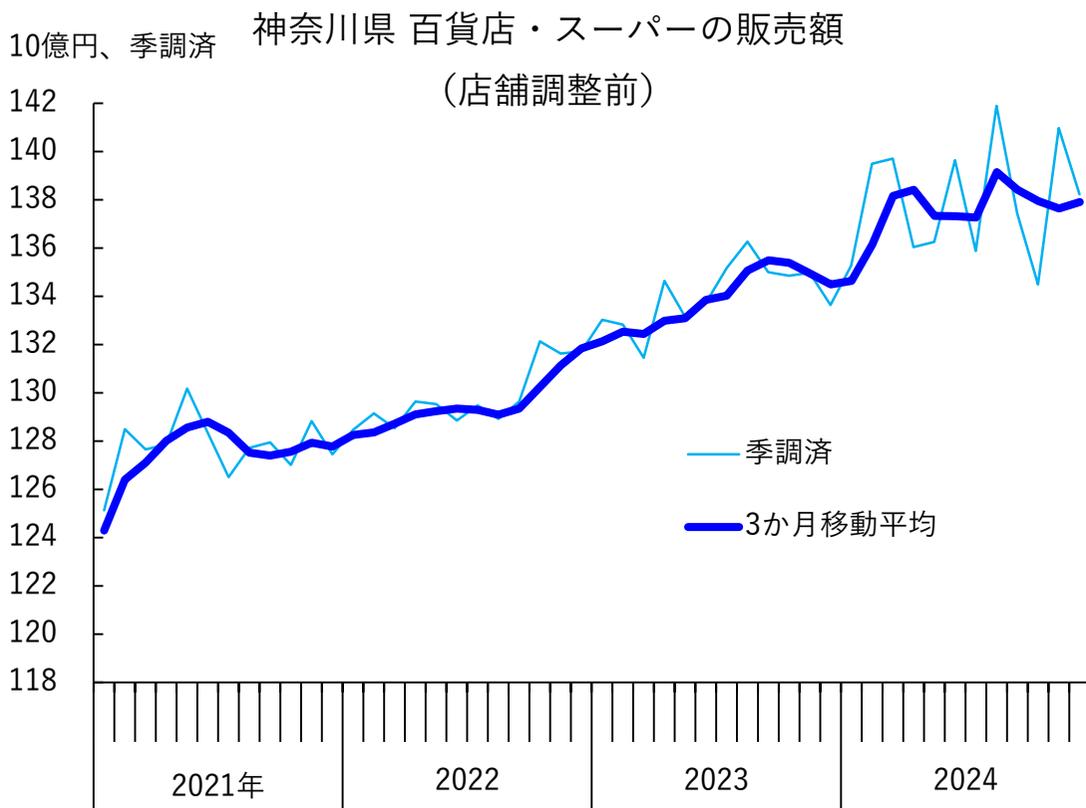
注：受理地ベースは、神奈川県内で受理した求人票をベースとした集計。就業地ベースは、実際に神奈川県内に就業する求人をベースとした集計。

出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」、神奈川労働局「労働市場速報」

出所：神奈川県「毎月勤労統計調査地方調査」より浜銀総研作成



- サービス消費は横ばい圏内で推移した模様。12月の内閣府「景気ウォッチャー調査（南関東）」の景気判断理由集では、物価高の悪影響を示唆する飲食店のコメントがみられた。ただ、宴会需要の増加を示すホテルなどのコメントも複数あり、季節性の消費は底堅く推移したようである。
- また、財消費も伸び悩んだ。百貨店・スーパーの販売額は、物価高の影響が強まり、12月単月では前月比-1.9%となった。もっとも、3か月移動平均は概ね横ばいで推移した。
- 12月の横浜市の消費者物価指数（総合、前年比）は前年比+3.9%と、11月以降、上昇率が再び加速している。生鮮野菜などの値上がりで、食料の伸び率が拡大した。また、政府による電気代・ガス代の補助金があったん終了し、エネルギー価格も上昇した。



注：季節調整は当社で施した。

出所：経済産業省「商業動態統計」より浜銀総研作成

注：その他は総合からエネルギー、食料を差し引いた残差。

出所：総務省「消費者物価指数」より浜銀総研作成



浜銀総合研究所



2025年2月5日
調査部 研究員補
井町淳哉